

6. E 科目（英語関連科目）の履修について

国際高等教育院では、学生の英語によるコミュニケーション力の向上と国際性の涵養を図るため、全学共通科目で開講されている科目の中から、英語力強化に資すると考えられる科目を選び、E 科目として指定しています。E 科目には3つのカテゴリーがあり、それぞれのカテゴリーの中にさまざまな科目があります。履修上の注意事項とシラバスをよく読み、自分に合った科目を積極的に履修してください。

(1) E 科目のカテゴリー

E 科目には次の3つのカテゴリーがあります。履修の際の参考にしてください。

E1	英語テキストの講読を中心的な内容とする科目（人文・社会科学科目群外国文献研究分野で開講）
E2	英語を使用言語として実施される科目（科目群・分野の区分にかかわらず開講 ※外国語科目群を除く）
E3	英語スキルの向上を目的とする科目（キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野で開講）

E 科目に指定されている科目は、「III. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)の「E 科目指定」欄にカテゴリーが記載されています。KULASIS のシラバス検索ではカテゴリーを指定して検索することが可能です。一覧にある科目のほか、夏・冬に集中講義が開講されることがあります。

(2) 履修上の注意事項

- ① E 科目は、E 科目として独立した科目群を構成するものではなく、人文・社会科学科目群や自然科学科目群等の各科目群の科目として開講されています。従って、単位を修得した場合には、原則開講されている科目群の単位として取り扱われます。平成 25～27 年度学部入学者が履修した場合は、開講されている科目群・分野に応じて科目群が読み替えられます (p.259～参照)。
- ② 平成 28 年度以降学部入学者が外国語科目群で英語を選択する場合、修得すべき E 科目の単位数が設定されます。E 科目のカテゴリーや科目の指定、および卒業に必要な単位数は学部により異なりますので、「V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.180～)で確認してください。
- ③ 「全・英」の表示がある E1・E3 科目および ILAS Seminar-E2 は予備登録をしてください。予備登録の結果、定員に達しなかった場合は、予備登録した学生の履修を許可した上で、空き定員について先着順で申し込みを受け付けます。
- ④ E2 科目については履修者が一定の英語力を有することを前提として授業が進められます（提出課題、筆記試験やレポート試験も特段の指示がない限り英語での解答が求められます）。十分な英語力（目安として、最低でも TOEFL ITP スコア 530 点以上であること）がある人の受講をお勧めします。
なお、ILAS Seminar-E2 や英語で開講される実験科目（Elementary Experimental Physics-E2 および Fundamental Chemical Experiments-E2）は、少人数で対話ができるゼミ・実験形式の科目で1回生の履修を推奨しています。また、所属学部（学科）で必修科目等に指定され1回生時に配当されている E2 科目については、学部（学科）の指示に従い履修してください。
- ⑤ E2 科目では原則人数制限を実施します。KULASIS の「履修（人数）制限」ページで予備登録してください (p.73～参照)。ただし、Elementary Experimental Physics-E2 および Fundamental Chemical Experiments-E2 は p.78～、ILAS Seminar-E2 は p.82～参照)。予備登録で定員に達しなかった科目は先着順で申し込みを受け付けます (p.47～参照)。
- ⑥ 国際高等教育院ウェブサイトの「英語教育と E 科目について」のページ (<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/english-education>) の「E 科目を履修する上での注意事項」を参考にしてください。

(3) 「全・英」の表示がある E1・E3 科目

- ① 「外国文献研究（全・英）-E1」や「クリティカルリスニング（全・英）-E3」のように、科目名に「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修するには事前申込（予備登録・先着順申込）が必要です。下記を参照してください。
- ② 「全・英」の表示がある E1 科目は学部 2 回生以上を対象に開講され、「全・英」の表示がある E3 科目は学部 1 回生から履修することができます。

③ 平成 27 年度以前入学で卒業に必要な英語の単位が不足している学部生については、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得することによって英語の単位を充足することが可能です。(p.259～参照)

④ 大学院生は「全・英」の表示がある E3 科目を履修できます。ただし、大学院生がアカデミックディスカッションまたはアカデミックプレゼンテーションを履修しようとする場合、大学院共通科目群において開講されるクラス（講義コードが「G」で始まり、科目名に「(全・英)-E3」の表示がないもの）を履修してください。
なお、大学院生は「全・英」の表示がある E1 科目を履修することはできません。

⑤ 「外国文献研究(全・英)-E1」は、副題が異なる授業が複数開講されますが、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修が可能です。ただし、同一教員が授業担当責任者（「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)参照)である授業を複数履修した場合は同一授業とみなされ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認められます。なお、学部 2 年生は原則として各開講期 1 科目を履修の上限とします。

⑥ 「全・英」の表示がある E3 科目は学術的言語技能の向上を目的とする科目です。コンセプトは、複数の技能の育成を目的とした「技能統合型」コースです。科目と技能領域、履修者定員は、以下のとおりです。

科目	技能領域	1クラスあたりの定員	旧科目（～令和 6 年度）
アカデミックディスカッション I (Academic Discussion I)	リスニング&スピーキング	30名	アカデミックディスカッション (Academic Discussion)
アカデミックディスカッション II (Academic Discussion II)			
クリティカルリスニング (Critical Listening)	リスニング&スピーキング リスニングの自律学習中心	100名	
アカデミックプレゼンテーション I (Academic Presentation I)	リーディング&スピーキング	30名	アカデミックプレゼンテーション (Academic Presentation)
アカデミックプレゼンテーション II (Academic Presentation II)			アカデミックプレゼンテーション上級 (Academic Presentation Advanced Class)
テストテイキング I (Test Taking I)	総合的四技能	40名	テストテイキング I (Test Taking I)
テストテイキング II (Test Taking II)			テストテイキング II (Test Taking II)
アクティブリスニング I (Active Listening I)	リスニング&スピーキング リスニング中心	30名	アクティブリスニング (Active Listening)
アクティブリスニング II (Active Listening II)			

⑦ アカデミックディスカッション、アカデミックプレゼンテーション、テストテイキング、アクティブリスニングには「I」と「II」の下位区分があり、前者が基礎的、後者が応用的なスキル開発を行うものです。アカデミックディスカッション、アカデミックプレゼンテーション、テストテイキング、アクティブリスニングの「I」と「II」はそれぞれ別科目として扱われます。IとIIの受講順番は問いません。また、IだけあるいはIIだけを受講することも可能です。各科目のシラバスを読み、自分に合った科目を受講してください。

⑧ 「全・英」の表示がある E3 科目は、異なる開講期に同一科目名の科目を複数履修した場合、担当教員にかかわらず通常在同一科目判定が行われ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認められます。また、上記⑥の表にあるとおり、令和 6 年度まで開講されていた「アカデミックディスカッション(全・英)-E3」、「アクティブリスニング(全・英)-E3」は、それぞれ「アカデミックディスカッション I(全・英)-E3」、「アクティブリスニング I(全・英)-E3」と同一科目として取り扱われ、「アカデミックプレゼンテーション(全・英)-E3」(上級クラス含む)は、「アカデミックプレゼンテーション I(全・英)-E3」、「アカデミックプレゼンテーション II(全・英)-E3」と同一科目として取り扱われます。

《「全・英」の表示があるE1・E3科目の事前申込について》

令和7年度以降入学者については、「全・英」の表示があるE3科目に限って1回生前期から履修することができます。なおそれ以前（平成28年度以降）の入学者については、2回生前期に1科目、2回生後期に1科目履修することを基本とします。3回生以降は、上限なく登録が可能です。

予備登録は授業開始前に行われますので申込期間に注意してください。予備登録期間1の約1週間前（前期は3月中旬旬、後期は9月中旬旬）から、KULASISの外国語予備登録ページに開講科目の時間割や事前申込の日程等を掲載します。

（学部1回生の注意事項）

「全・英」の表示があるE3科目の履修を理由として、自クラスに配当された外国語科目やクラス指定科目（自由選択科目を兼ねる科目を除く）を他クラスに変更することはできません。開講科目の時間割を考慮のうえ、事前申込をしてください。

①-1 予備登録期間1

（対象学生・予備登録期間1における「全・英」の表示があるE3科目の取扱い）

前期：学部2回生のみ ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

後期：学部2回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

および学部1回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目のみが対象科目です〕

※学部1回生が「全・英」の表示があるE3科目の履修を希望する場合、前期については次の予備登録期間2から申し込んでください。

※平成28年度以降入学で3回生以上の学部生、および平成27年度以前入学で卒業に必要な英語の単位を充足していない学部生は、次の予備登録期間2から申し込んでください。

※大学院生が「全・英」の表示があるE3科目の履修を希望する場合は、先着順申込受付期間において申し込みをしてください。（大学院生は、本予備登録の対象外です。）

（方法・手順）

前期・後期とも、それぞれ所定の期間にアンケートシステムより希望クラスを申し込んでください。

予備登録期間1と次の予備登録期間2にそれぞれ申し込むことができます。ただし、学部1回生および学部2回生が一開講期に抽選で当選する科目は1科目のみです。

（抽選・結果発表）

抽選終了後、結果をKULASISの外国語予備登録ページに掲載します。ただし、掲載されるのは当選した科目がある場合のみです。抽選に外れた場合は、次の予備登録期間2で定員に空きのある科目に申し込みをしてください。予備登録期間1に当選した場合は予備登録期間2に申し込みすることはできません。なお、予備登録期間1で当選した科目をキャンセルした後であれば、予備登録期間2に改めて申し込むことができます。

この時点で、当選した科目はKULASISの履修登録候補科目設定画面には表示されません。

（例外措置） ※後期のみ

学部2回生のうち、前期に「全・英」の表示があるE1・E3科目の単位を修得していない者で、なおかつ進級・コース分属等のため、後期に2科目めの「全・英」の表示があるE1・E3科目の履修を希望する場合は、別途指定する期日までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください（1科目めは各自で事前申込をしてください）。

①-2 予備登録期間2

（対象学生・予備登録期間2における「全・英」の表示があるE3科目の取扱い）

前期：2回生以上の学部生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

および学部1回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目のみが対象科目です〕

後期：2回生以上の学部生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

および学部1回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目のみが対象科目です〕

（方法・手順） ※外国語予備登録と同時並行で実施します。

KULASISの外国語予備登録ページ（「英語」のカテゴリ）から、希望クラスを申し込んでください。前期・後期とも、授業開始前に期間を設け、4平日にわたって各日8:00から18:00に申し込みを受け付けます。各日とも、申込締め切り後、申込者数が定員を超えたクラスについて抽選を行います。2日目以降は、前日までの抽選の結果、定員に達しなかった科目のみ申し込みを受け付けます。

分類上、「予備登録が必要な E3 科目」と「予備登録が必要な E1 科目」という 2 つのカテゴリーに分かれており、1 回の申込につき各カテゴリーごとに 1 クラスに申し込むことができます。回生ごとの留意点は以下のとおりです。

- ◇ 学部 1 回生の申込画面では「予備登録が必要な E3 科目」のカテゴリーのみが表示されます。
- ◇ 学部 2 回生は、一開講期に「全・英」の表示がある E1・E3 科目を 1 科目履修することを基本としますので、1 回の申込につき両カテゴリーのいずれか一方に申し込むことができます。既に 1 科目当選している場合は、両カテゴリーのいずれにも新たに申し込むことはできません。
- ◇ 学部 3 回生以上で、「予備登録が必要な E3 科目」「予備登録が必要な E1 科目」のカテゴリーにおいて 2 科目以上の申し込みをする場合は、まず、1 科目のクラスが決定してから、2 回目の申込日以降に 2 科目めの申し込みを行ってください。

（抽選・結果発表）

各日の抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS の外国語予備登録ページでも確認できます。落選した場合、および 2 科目めを申し込む場合は、同じ方法で次の申込日以降に申し込んでください。

4 回目の申込日の抽選終了後、予備登録期間 1 および予備登録期間 2 を通じて許可された科目（キャンセルした科目を除く）が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。

②先着順申込

（対象学生・先着順申込受付期間における「全・英」の表示がある E3 科目の取扱い）

先着順申込は、すべての学部生・大学院生が対象です。ただし、「全・英」の表示がある E1 科目はすべて 2 回生以上の学部生を対象に開講されますので、学部 1 回生はこれらに先着順申込を行うことはできませんが、「全・英」の表示がある E3 科目に先着順申込を行うことができます。

（方法・手順）

「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」に記載の「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。

③履修登録期間および履修登録確認・修正期間

予備登録・先着順申込により履修が許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されていることを確認の上、必ず「確定」ボタンを押してください。 予備登録・先着順申込だけではまだ履修登録は終わっていません。

（4）上記（3）以外の E1・E3 科目

- ① (3) 以外の E1・E3 科目は、登録科目数の上限はありませんが、人数制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それ従って事前申込をしてください。人数制限の指示がない科目は、事前申込の必要はありませんが、履修を希望する科目を時間割に追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず「確定」ボタンを押してください。
- ② 全て学部 2 回生以上を対象に開講されます。学部 1 回生は履修することはできません。
ただし、「理系のための英語プレゼンテーション入門（理・英）-E3」については、学部 1 回生も履修可能です。
- ③ 「外国文献研究（文・英）A-E1」や「臨床コミュニケーション（医・英）-E3」のように、E1・E3 科目のうち特定の学部を対象に開講される E1・E3 科目は下表のとおりです。履修人数に余裕があれば他学部の学生も履修することが可能ですが、開講学部への事前申込等が必要な場合があります。詳細は別途掲示等によりお知らせします。

対象学部	科目名	科目群	開講期	単位	備考
文学部	外国文献研究（文・英）A-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文学部英語選択者必修科目（A・B 各 2 単位計 4 単位） ・履修条件の詳細はシラバスを参照すること。
	外国文献研究（文・英）B-E1	人社群	後期	2	
教育学部	外国文献研究（教育・英）I-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部英語選択者必修科目（I・II 各 2 単位計 4 単位） ・各クラス定員 45 名
	外国文献研究（教育・英）II-E1	人社群	後期	2	

法学部	外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・法学部必修科目（Ⅰ・Ⅱ各 2 単位計 4 単位） ・各クラス定員 50 名（事前登録が必要。定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可）
	外国文献講読（法・英）Ⅱ-E1	人社群	後期	2	
経済学部	外国文献研究（経・英）A-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度以降入学者 経済学部必修科目（A・B から計 4 単位） ・令和 3 年度以前入学者 経済学部英語選択者必修科目（A・B から計 4 単位） ・4 単位を超えて履修することはできない。 ・履修取消期間中の取消を認めない。 ・各クラス定員 40 名（定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可）
	外国文献研究（経・英）B-E1	人社群	後期	2	
理学部	理系のための英語プレゼンテーション入門（理・英）-E3	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部生は、キャリア形成科目群および E 科目として認定する。 ・学部 1 回生も履修可能。
	理系のための英語プレゼンテーション入門（理・英）-E3	キャリア群	後期	2	
医学部	臨床コミュニケーション（医・英）-E3	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部医学科必修科目
薬学部	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A-E3	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部必修科目（A・B 各 2 単位計 4 単位） ・各クラス定員 50 名（余裕がある場合のみ理科系他学部学生履修可）
	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）B-E3	キャリア群	後期	2	
工学部	Scientific English Ⅱ-E3 (Presentation & Discussion)	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部地球工学科の Kyoto iUP 生と国際コースの学生はこれらの科目から令和 2 年度以降入学者は 2 単位以上、平成 31 年度以前入学者は 4 単位以上修得すること。
	Advanced Scientific English-E3 (Debate)	キャリア群	後期	2	

※これらの科目は平成 28 年度まで、総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目です。平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「Ⅴ. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.259～)を参照してください。